

効果検証結果

No.	具体的な事業	①本事業が総合戦略のKPI達成に有効であった		検証委員からの意見
		②本事業は総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった		
1	地方創生人材育成による「うだつの町並み」空き家・空き店舗再生事業	○		<p>○ただし、町並みの保存と再利用のコンセプトが見えず、古いモデルの活性化策になっており、不安定な印象を抱く。</p> <p>○「地域資源」と「既存住民の生活」と「新しいアイデアや移住者の文化」の3つの要素のバランスを上手くとることが必要である。</p> <p>○うだつの町並みへのサテライトオフィスへの誘致については、評価できる。「宿泊」と「食」に関連した空き家・空き店舗の活用は、町並みの立地条件を活かした展開が必要と考える。工房など伝統産業や芸術を志向する移住者の誘致も検討すると良いと思われる。</p> <p>○連携は地元企業であれば良いかもしれないが、質等も考えると、より広い範囲で協力を得てもよいと思われる。</p>
2	うだつの町並みにおける「竹」を活用した体験メニュー開発と「美馬の竹工品」ブランド確立事業	○		<p>○販売に至っていない。(販売額0円)</p> <p>○和傘のPR不足が気になる。販路の拡大とマーケティング戦略が急がれる。良い伝統文化、工芸資源だが「ブランド化」がされていないのが問題である。</p> <p>○安定的に和傘が生産できる体制がとれるよう行政のサポートを期待する。和傘産業が生業として継続できるよう販売も含めた事業計画の策定が求められる。</p> <p>○まだまだやり方はあるはずで、成果も出てくる。和傘に特化して収益を上げられる方法を考えていただきたい。</p>
3	「農林業×伝統工芸×観光」連携推進事業	○		<p>○連携の効果を高めるデザインや、それを後押しする行政支援が必要に思える。(民泊収入額0円)</p> <p>○グリーンツーリズムは、全国の中山間地で注目されているだけに、独自性がなければ集客できない。エリアとしてのPR不足が気になる。</p> <p>○旅行業者も美馬市にオフィスを開設した。スピード感を持って、美馬市版DMOを設立していただきたい。</p> <p>○この事業の目的を、もっと明確にするとともに、他の事業との関連にも目を向けておくことが必要である。</p>
4	山間集落の暮らし体験を中心とした体験交流による地域づくり推進事業	○		<p>○「地域づくり」という目的達成の筋道がみえづらい。</p> <p>○美馬市版DMOを早急に設立して、美馬市でしかできない体験プログラムを考えていただきたい。</p> <p>○面で受け入れる体制をつくるには、その郷などとの連携は欠かせない。</p>
5	美馬市生涯活躍のまちモデル推進加速化交付金	○		<p>○活躍のモデルがなく、達成しようがないかもしれない。</p> <p>○アクティブコーディネーターの活躍機会を積極的に「外」に向けて持つことが求められる。プロモーション動画の再生回数116回は、少なすぎる。認知度アップのためにもプロモーションツールを作成したあとの活用とPRが重要である。</p> <p>○モデル事業プランの改訂に伴い、移住者数等のKPIを見直してはどうか。美馬市らしいCCRCの事業プランを策定されることを期待する。</p> <p>○他の地域と比較して、どこに特徴があるのか。目にとまらないと前へ進まない。</p>